

# 胃瘻管理情報提供書

患者情報

ID	氏名
生年月日 年 月 日	年齢 歳 性別

主病名

#.	#.
----	----

基礎疾患

#.	#.
----	----

身体状況  
必要栄養量

身長: cm 体重: kg 通常時体重: kg IBW: kg BMI:  
Hb: g/dl Alb: g/dl TLC: / $\mu$ l T-cho: mg/dl  
【必要栄養量】  
基礎代謝(BEE): kcal 活動係数(AF): ストレス係数(SF):  
必要エネルギー(TEE): kcal たんぱく質: g 脂質: g 炭水化物: g  
注意点:

胃瘻本体

胃瘻造設病院名  
造設日 年 月 日 最終交換日 年 月 日  
メーカー・製品名  
チューブ型/ボタン型 バンパー型/バルーン型  
カテーテル径 Fr. (ボタン型の場合)シャフト長 cm  
次回交換予定日 年 月頃

投与内容

栄養剤名  
朝: 栄養剤 ml (g), 水道水 ml  
昼: 栄養剤 ml (g), 水道水 ml  
夕: 栄養剤 ml (g), 水道水 ml  
投与熱量 kcal たんぱく質 g 脂質 g 炭水化物 g  
水分量 ml 食塩相当量 g

投与手順

- ① 30~45 度に上体挙上
- ② 水を 15~20 分程度で投与
- ③ 30 分以上経過後、水約 20ml でフラッシュし、栄養剤を 時間程度かけて投与
- ④ 水約 20ml でフラッシュ後、必要な薬剤を簡易懸濁法の手順で投与し、再度フラッシュ  
(簡易懸濁法が不能なものは粉碎したものを懸濁して投与)
- ⑤ 5~10 倍に希釈した酢水をルート内に充填(ボタン型カテーテルは不要)
- ⑥ 30 分~1 時間程度上体挙上を保つ

NST アセスメント内容

特記事項

記載日 年 月 日

福井県立病院 NST 職種 氏名